

我が心のふるさと小諸

坂の町小諸。浅間山の裾野の町小諸。美しく雄姿な浅間山は、いつも白い煙を吐いています。清らかな千曲川は、穏やかに流れ、雨上がりの時は濁流が渦をまくこともあります。この素晴らしい大自然の中の小諸で私は生まれ育ちました。この幸せは私の宝であり心の財産です。

何処まで行っても坂の町。私が通学した小学校は一、二年生の時は野岸小学校、三年生から通った小学校の名は、坂の上小学校と言いました。小諸の一番坂下にある新町に住んでいた私は、一番坂上の学校まで四年間、毎日日々夏も冬も汗を掻きかき一生懸命歩きました。雪の積もった坂道は大変でした。時には忘れ物をして家まで取りに帰り、中央通り一本町一市町一新町とまた坂を上り学校に戻る。今思うと一日二往復は小学生にとってもない距離であつたと思います。草履や下駄を履いて通学していた友達も居ました。

坂道を毎日歩いたこと、自然の中で砂利道・砂道を下駄で雨の日も雪の日も元気に歩いたことが、源となつて今日まで健康で丈夫でいられるのかも知れません。感謝しています。小諸の友人もみんな元気で頑張っています。

明治の人、大正時代の人は、着物を着て下駄を履いての生活、「母は強し」大変だった事と思います。太鼓のリズムに乗った盆踊り、ヨイヨイヨイヨイの勇壮な掛け声の祇園祭のお神輿は、懐かしく楽しい坂の町小諸の思い出は尽きません。我がふるさと小諸に誇りを持ち、心から感謝しています。そして今、自然に恵まれた小諸周辺には、沢山の介護特別養護老人ホームが出来ており、なかには小諸ならではの温泉つき施設もあり注目されています。ご参考に私が訪問した施設を下段にご紹介します。

全国介護相談員南関東代表
東京小諸会常務理事 白鳥ひさじ

句集のご紹介

毎日新聞社主催の第十二回「毎日俳句大賞」で、小諸市小原出身の小野崎清美(旧姓大池)さんが大賞を受賞され、受賞を記念して平成六年から二十年までの十五年間の作句の中から三五八句を選句して「白雲を待つ」の題名で、句集を出版されました。今回の大賞受賞句は、浅間山の噴火の様を詠んだ「噴煙の倒れてきたる花野かな」です。

装丁は白雲を配した上品な仕上がりで、ご両親への想い、故郷への思い、濃やかな情感の溢れた句集に、素人の私ですが感銘を受けました。

故郷小諸から上京した同じ身として、私がとても共感を覚えた句は、「雪嶺へ深々と礼上京す」です。

出版社は「ふらんす堂」03・3326・9061

東京小諸会監事 鈴木 裕子

長野県小諸市周辺に所在する介護施設一覧

1. 居宅介護支援センターケアハウス やまひこ(社会福祉法人 小諸青葉福祉会やまひこ)
入所五十名・ケアハウス一般三九名・夫婦三室・短期機能訓練室・グループ九室
小諸市柏 0267・26・2727
2. 特別養護老人ホーム シルバーピラこもろ(デイサービスセンター)居宅介護支援事業所
入所五四名・ショート十六名・デイ三十名
小諸市滝原 0267・24・5111
3. 介護老人保健施設しののめの里(居宅介護支援事業所)浅間福祉会 しののめの里
入所百名 通所二十名・機能訓練室・デイルーム
小諸市松井 0267・25・7591
4. 特別養護老人ホーム シルバーランドみつい
家族と共に過ごせる居室十床・短期入所居室二十床・一般五十床・痴呆二十床
佐久市新子田 0267・66・6800
5. 黒沢病院ケアホーム 小規模ケアホーム宅老(特別医療法人 恵仁会)病院八三床・施設安壽苑八二床・グループホーム
佐久市中込 0267・64・1700
6. 介護老人福祉施設まき 温泉療養所(総合福祉施設ケアポートみまき)
ショートステイ十名・長期入所五十名
北御牧布下 0268・61・6003
7. 特別養護老人ホーム 若槻ホーム(社会福祉法人 居宅介護支援事業所)ショートステイ十名・デイサービス二十五名 利用定員五十名
長野市田中 026・251・3500

福引きの光景

例年、懇親会の後半で行われるジャンケン方式の福引きは大好評です。

童心に返ったこの真剣な表情をご覧ください。(昨年の懇親会)



広報 こもろ 平成23年10月号からの転載記事三つ

平成23年度
中学生海外派遣
交流事業報告

日本では経験できない貴重な10日間
アメリカでの経験を将来に活かしたい



アメリカ合衆国

中学生海外派遣交流事業は、次代を担う中学生たちが海外の異なる文化や生活習慣等を体験することにより、国際理解を深め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材の育成に役立てるための事業で、今回10回目を迎えました。

今年度は市内の中学2年生13人が、7月29日～8月7日の日程で、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド近郊を訪問しました。

参加した生徒の皆さんは、ホームステイをしながら、アメリカの公共施設の見学、ボランティア活動や日常生活の体験、ホストファミリーとの交流などを行いました。最初は戸惑っていた皆さんでしたが、人々とふれあい、交流を深め、笑い、楽しむ体験を積み重ねて、将来への夢と希望を膨らませて帰国しました。

8月17日には、市役所で帰国報告会が行われ、体験や感想を報告していただきました。

▼問い合わせ先
市民課 ふれあい交流係

■未来へ続け！この友情！

滑川市立田中小学校-坂の上小学校との交流36年目

姉妹都市である富山県滑川市の田中小学校6年生40名が、8月26、27日の日程で小諸市を訪れ、26日に交流を続けている坂の上小学校で歓迎会が行われました。田中小学校と坂の上小学校との交流は今年で36年目を数え、親子2世代にわたる交流が続いています。田中小学校の皆さんは、りんご狩りやそば打ち体験、坂の上小学校6年生の家庭でのホームステイを通して小諸での交流を深めました。10月には、坂の上小学校の児童が滑川市を訪問し、さらに交流を深める予定です。



■北国街道開道400年記念 ほんまち蔵出し市

8月27日、北国街道開道400年を記念して本町通りで、「ほんまち蔵出し市」が行われました。これは、小諸商業高校のスマイル小商店街から小諸市へまちづくりに関する提案があり、これを本町実業会が実現させたもので、今年初めての開催となりました。

当日は、良い天候に恵まれ、歩行者天国となった本町通りでは、出店、江戸時代の蔵・町屋の見学、人力車の乗車等が行われ、かつて本町通りで盛んに開かれていた「市」の賑わいをみせていました。

